

■活動内容

- ・おたっしや教室 毎週水曜日 80歳以上 9:30～11:30
 - ・お出かけ支援 おたっしや教室の日に平和堂フレンドマートまで移送
 - ・りんりんカラオケ おたっしや教室のない水曜日 公民館
 - ・おしゃべりカフェ 月1回公民館でどなたでも 9:30～11:30
 - ・ひだまり学舎 学びを通しての交流
 - ひよこクラブ 未就園児5人（H30・6開始）
 - りんりん学童 小学生25人 学校がある日 15:30～17:00
 - りんりんそろばん そろばんの練習、宿題、カロムOK
 - りんりんJCB食堂 じいちゃん・ばあちゃん・こども、皆きてね～
- ふれあいカレンダーを全戸配布（毎月、区の評議員さんが配布）



■団体名	りんりんちょボラ
■参加者	区民
■活動拠点 連絡先	林自治会館、ひだまり学舎

■活動のきっかけ・実現までの経緯

平成29年3月に開催された自治会総会において、女性区民から「子育て支援や高齢者支援」を活動に加えるようにとの意見が出され、承認されました。高齢者の物損事故が多発、また区内の高齢女性が見通しの良い交差点で出会いがしら事故で死亡された現状を踏まえ、町の新規事業「竜王町地域支え合い仕組みづくりモデル事業」に応募し、取り組みがはじまりました。

かねてより地域活動が活発に行われていて、区民運動会と区民文化祭を融合させた「大昼食会」は20年の歳月を重ねています。役場OBを主体とした福祉委員会、社会教育委員会は若者の登竜門として機能しており、「りんりんちょボラ」はそのような人と人がうまくつながって出来上がり、自治会を通して活動が広がっています。



利用者さんの声

今はどうしても時は車に乗っているけど、5年後には、運転はむりやと思う。その5年後のためにしっかり事業化してもらえるように、利用実績をつくっている。

活動者の声

- ・町から言われてやるのではない。
- ・新規事業の趣旨を踏まえて林の役に立つことを模索してみよう
- ・アンケートや先進地研修、知恵の絞りだし会議の開催 …以上の基本方針を確認し、区民にも周知

防災の近所活動で、弱者の車での避難移送訓練等を実施したことは、その後の支え合い事業の円滑な展開につながった。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

なんでやるの ⇒ そこに待つ人がいるから という単純な構図。

大規模なイベントをやるでもなく、楽しくスマートに多くの方々の支援が集まるように「りんりんちょボラ」の精神、「みんなでちょっとずつボランティア」を実現できるよう意識して対応しています。

こども食堂の野菜提供者も大切な「りんりんちょボラ」さん！食堂にご招待。おでかけ支援の車中は日頃の不満を聞いてもらえるストレス解消の場に…たぶん「楽しい」がキーワードであろう。

お互いさんやんか…と言われても、いつかお返しをを考えるのが常人！その気遣いをしないための手法が寄付文化の醸成。おでかけ支援で100円、JCB食堂で200円を目安に寄付すれば、しがらみなし！